

学校だより 9月号

城南

学校教育目標 「自立の基礎を養う～自分のことは自分で～」 児童数100

さあ、2学期が始まりました。

43日もの長い夏期休業が終わりました。夏期休業中には全国で水の事故をはじめ、子ども達が巻き込まれる事件や事故等がありましたが、幸いなことに城南小の子ども達は元気に暑い夏を過ごしてくれたようでホッとしています。

連日30度を超え、残暑が厳しいですが、今日から2学期が始まりました。来週からは、運動会練習が始まりますが、熱中症に気をつけながら取り組んでいきたいと思えます。

2ヶ月ぶりの学校だよりですので、この2ヶ月の間の出来事等をお伝えします。

一輪車、ありがとうございました！

夏期休業に入ってまもなくの7月20日に、草生の下山様から一輪車の寄贈がありました。今までなかった低学年用のもので非常に状態が良いもので、大変ありがとうございました。2学期から低学年の児童も上級生に教えてもらいながら練習する姿が目に見えてきます。

チャレンジ教室

7月20日～24日までの3日間、午前8時15分から9時まで、算数の基礎的な学習を中心に、36名の児童が参加しました。本校の教員以外に、地域の井上和也様、勝田洋一郎様、平尾妙子様、奇峯好子様、井上緑様、清水紀子様、檜原有子様が学習ボランティアとしてご協力してくださいました。赤ペンで採点やつまづいている児童への個別指導等々、温かい視線と優しい語りかけで、児童は自分のペースでじっくりと学習に取り組むことができました。本当にありがとうございました。

水泳指導～赤磐市学童水泳記録会

6月1日に安全と泳力の向上を祈願してプール開きを行いました。そして、体育の授業を中心に、低学年は水に慣れ親しむことを、中学年は泳ぎ方や息継ぎを、高学年は長い距離を練習してきました。また、吉井スポレクのご協力を本年度もいただき外部講師として元日本記録保持者の木原珠子さんをお迎えしての水泳教室も2回開催しました。

そして、スクールバスでお世話になっている吉井観光さんにご理解をいただき、下校の第2便を30分遅らせていただき、放課後水泳練習を行いました。

夏期休業に入ってから午前中にはラッココース(泳ぎに自信のない児童中心)とイルカコース(赤磐市学童水泳記録会参加を目指した児童)、そして放課後にはPTA保護者の方がお世話をくださった地区水泳がありました。随分と泳ぎに自信をもったり、距離やタイムが大幅に伸びたりと、水泳に関する成果が著しく見られました。特に、6年生児童の頑張りや成長には驚かされました。

7月31日(月)の赤磐市学童水泳記録会には、標準記録を突破した4年生以上の児童20名が城南小の代表として参加し、市内の他校の児童と泳力を競い合い、親睦も深めました。

本年度の赤磐市学童水泳記録会では、参加者数は大規模の山陽地区の学校が多く、新記録も山陽地

区の学校の児童が出して、その活躍が目立っていました。新記録を出すような児童は、スイミングスクールに一年中通っている児童で、児童数が多い学校からの参加者数が多いのは当たり前ではないかと思えます。それよりも我々学校の教員が大切にしたいのは、どれだけ学校の体育授業や放課後練習等で児童の泳力を伸ばしたかではないかと思っています。そこで、全校児童数に対して、記録会に参加した児童の割合を出してみました。すると、大規模の山陽地区の学校からは、6%～12%の参加率でした。一方、小規模校の笹岡小からは全校児童53名の内15名、参加率28%、次いで磐梨小24%、軽部小24%、そして、城南小20%でした。泳ぎに自信のなかった児童がもの凄く練習をしてやっと標準記録を突破して記録会に参加した。そのような児童が多い学校が立派ではないかと思えます。決して、赤磐市の新記録は出せないかもしれませんが、一人でも多くの児童が記録会に参加することの方が価値があるのではないかと。

赤磐市教職員体育大会

赤磐市では、平成18年度から市内の幼小中に勤務する教職員と教育委員会で親睦を目的に体育大会を開催しています。各中学校ブロックでチーム編成をして、ソフトボール、バレーボール、ニュースポーツの3種目の分かれて優勝を目指します。

昨年度、吉井中連合で参加したソフトボールでは、1回戦で磐梨中連合と対戦しましたが、3回までに被安打8にも関わらず14エラーで、3対11で大敗しました。屈辱の自滅！

今年は、7月29日（土）に桜が丘中学校でソフトボールがありました。昨年度の反省を踏まえてセンターラインを固定し、事前に4日練習を行いました。城南小からは、中西（投手）、延岡（捕手）、遠藤（二塁手）、野村（遊撃手）、國安（左翼手）、上田（中堅手）の6名が参加しました。

1回戦は、赤坂中連合に8対2で勝ち、2回戦は、桜が丘中連合に5対3で何とか勝ち、決勝戦進出を決めました。そして、決勝戦は、あの磐梨中連合。

結果は、4回までで2対8で、あえなく返り討ちの敗戦。しかし、相手は野球経験者が5名で、投手は過去に全日本教員大会で3位になった本格派に対して、全員が奮闘しました。お陰で準優勝！

吉井周辺の地層は、日本で貴重な地質の宝庫！

昨年秋、山陽新聞で吉井支所3Fに「地球年代学ネットワーク」があることを知った。年が明けて、そこを訪ねると、乙藤教授がおられ、いろいろなお話しをお聞きした。そして、3月に6年生児童を対象に地学教室をしていただいた。その時に大池団地の北側の崖は、約2億年前の泥が固まった泥岩であることを知った。

8月10日に赤磐市内の小中学校に勤務する教員を対象に、吉井地域を中心に地質を見て回る地質巡検という研修を実施した。約30名もの教員（城南小からは5名）が参加した。

- ・大池団地の北側の道沿いの崖・・・約2億年前の泥岩（2億年前には水の底だった）
- ・美咲町飯岡の川原・・・・・・・・・・砂の層、泥の層が逆転した地層（地殻変動の後）
- ・BG 多目的広場の崖・・・・・・・・・・約3400万年前の山砂利層（川の跡！吉井のBGの辺りは、昔は川だったので。日本列島ができる前で日本海もなかった時代です。その川は、韓国とつながるような大きな川だったようです。このような地層は、日本では見られないとのこと。大変貴重な地層です。）
- ・美作市福本・谷口・・・・・・・・・・約2億年前の砂岩層。二枚貝の化石があるそうです。
- ・美作市中磯・・・・・・・・・・約2億年前の礫岩層
- ・和気町奥塩田の崖・・・・・・・・・・約1億年前の硯石層
- ・和気町延原の崖・・・・・・・・・・約2億年前の斑礫岩層（福井県からつながっている）
- ・和気町鶯飼谷温泉北側の崖・・・・・・・・約8000年前の火山活動による流紋岩

地球年代学ネットワークは、この秋から旧備作高校に移転し、活動を本格的にされるそうです。また、広い敷地や校舎内には、いろいろな岩石の展示場もされるようで、城南小も理科の学習で大いに活用させていただきたいと思っています。また、講師料の代わりに我々教職員が敷地の草刈り等に協力することになっています。

PTA 奉仕活動

8月20日(日)には、恒例の PTA 奉仕活動がありました。日曜日の早朝から多くの保護者の方々と5・6年生の児童が参加して、草刈りや草抜き、枝の剪定、トイレ等の掃除等々に汗を流していただきました。保護者の方々におかれましては、前日の吉井中の奉仕活動と続いての作業で、大変お疲れ様でした。お陰で夏期休業中に青々と茂っていた草もほこりをかぶっていた校舎もきれいになりました。本当にお世話になりました、ありがとうございました。

9月24日の運動会に向けて、教職員と児童でさらにグラウンドの整備等を行いたいと思います。

おすわ(諏訪神社の盆踊り)

8月27日(土)には、おすわがありました。吉井 PTA 連合による補導活動で午後7時から参加しました。あいにくとまだ十分に踊りを覚えていなくて、踊りの輪には参加できませんでしたが、踊られている年配の方や若手の方々の踊り、特に足の動きを見させていただき、さすがに躍り込まれている方々の動きに惹きつけられました。また、年々少なくなっている肉声の音頭にも深い味わいを感じました。このような日本の良き伝統はずっと受け継いで大切にしていって欲しいと改めて感じました。9月24日の運動会には、全校児童での踊りがあります。私も少しでも踊れるよう頑張らなければ。

IPU 学生による宿題解消教室

IPU の学生が就職活動の一環として BG 吉井海洋センターで実習を行いました。朝から夕方まで BG での実習よりも子ども達とふれあう活動を取り入れたらということで、午前中は城南小で小学生の宿題解消を手伝うことになりました。

どんな宿題を?何年生が?何人ぐらい?とやってみる前には分からないことばかりでした。

8月22日~24日、29日~30日の計6日間でしたが、はじめの2日間は児童4人に対して学生が5人と、学生の方が多かったのですが、24日には児童が7人と増えました。やはり、夏休みの終わりが近づくと焦って参加するのでしょうか?

学生と1対1ぐらいで、読書感想文の相談や宿題以外のドリル、中には工作を作るというもありました。学生と打ち解けて和気あいあいの雰囲気の中で楽しく宿題に取り組んでいました。後半の30分は、外でサッカーをしたり、体育館でバスケットボールをしたりと、子ども達と学生との交流も図られていました。

全国学力学習状況調査の結果

4月18日に行われた全国学力学習状況調査の結果が8月28日に公表され、8月29日付の新聞でその概要が掲載されていました。その記事には、「岡山県の小6年が過去最高の19位」や、県内市町村別の平均正答率が一覧表で示されていました。赤磐市の結果はほぼ岡山県平均に近づいてきています。しかし、我が城南小の結果は非常に厳しいものがありました。基本的な算数A、国語Aも、活用の算数B、国語Bも平均正答率で約15~20%の開きがありました。平均ですので、全員ではなく、低位の児童の割合が多いのです。特に、活用の国語Bにおいては、9問のうち正答が0だった児童が5名(23.8%)と、全く問題文の意味が分かっていない状況でした。この「読む」という根本的なところに本校の大きな課題が見られます。

学習状況の調査で、朝食や就寝時刻、起床時刻等の基本的な生活習慣の乱れも気になりますが、それ以外に2つのことが特に気になりました。

1つ目は、「将来の夢や目標を持っていますか？」という質問に対して、

- ・持っている・・・・・・・・・・・・・・・・38.1% (県70.8%)
- ・どちらとえば持っている・・・・・・・・33.3% (県14.8%)
- ・どちらかとえば持っていない・・・・4.8% (県8.3%)
- ・持っていない・・・・・・・・・・・・23.8% (県6.1%)

と、持っている児童の割合が県平均よりも大幅に低く、逆に持っていない児童の割合がかなり高いのです。この特徴は、6年生独自のものなのか、城南小全体のものなのかは分かりませんが・・・小学校の高学年としてはとてもさびしい実態がうかがわれます。

2つ目は、「1日当り(平日)どれぐらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりしていますか？」

- ・4時間以上・・・・・・・・・・・・28.6% (県15.6%)
- ・3時間～4時間・・・・・・・・・・・・19.0% (県15.8%)
- ・2時間～3時間・・・・・・・・・・・・14.3% (県23.5%)
- ・1時間～2時間・・・・・・・・・・・・28.6% (県28.7%)
- ・1時間未満・・・・・・・・・・・・9.5% (県16.9%)

これと似たような質問で、「一日当り(平日)どのぐらいの時間テレビゲームをしますか？」で、

- ・2時間以上・・・・・・・・・・・・61.9% (県30.2%)

また、「一日当り(平日)どれぐらいの時間、携帯やスマホで通話やメール等をしますか？」で、

- ・2時間以上・・・・・・・・・・・・42.9% (県11.8%)

山陽新聞の記事に、「スマホ使用時間 成績と連動傾向」と書かれていました。長時間スマホやゲームをしている児童ほど成績は芳しくないというものです。そのような傾向があるのは以前からもいわれていましたが、やはりです。

本校の児童の会話や日頃の様子等を見聞きしていて、どうも基本的な生活習慣が身に付いていないのは、携帯やスマホ、ゲームの長時間使用が根本的な原因ではないかと。長時間するから、就寝時刻が遅くなり、当然起床時間が遅くなり、その結果、朝食を摂らずに登校。登校後も、覇気がなかったり集中力がなかったり、我慢する力が足りなかったり・・・・悪循環。これで成績が向上するわけはありません。

ゲームは、場面設定も素晴らしく、色彩鮮やかな映像とテンポのよい音響で子ども達が興味を持つのが当たり前です。おとなでもゲームに夢中になっている人が多くいます。子どもとおとなの決定的な違いは、子どもは成長過程にあります。これからいろいろな能力や技能等々を身に付けていかなければならない時期で、心にも脳にも影響を受けやすいものです。そのような大切な時期にゲームに夢中になれば・・・・結果はおのずと出てきます。

子ども達の大切な成長過程に悪影響を与える、与え続けている携帯・スマホ・ゲームについて、考えていきませんか？この2学期は、子ども達の生活習慣を中心に、少し家庭生活の中にも踏み込むかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いします。全ては子ども達の将来のために！

【文責：中西伸司】